

中小企業地域資源  
活用促進法に基づく



**ふるさと名物**  
Furusato Meibutsu

わが市町村の  
ふるさと名物は  
**これ!**

**北海道津別町**  
が応援するふるさと名物

「愛林のまち」つべつの木工品  
応援宣言





ふるさと名物  
Furusato Meibutsu

応援宣言

## 北海道津別町

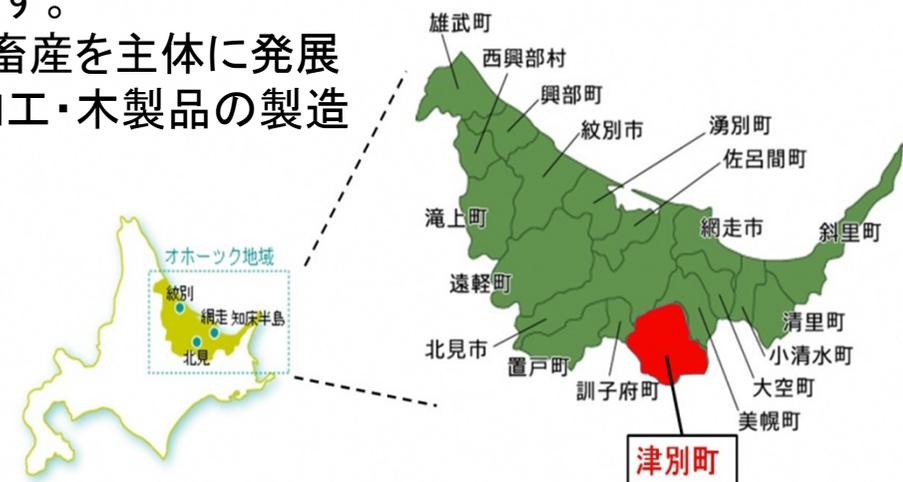
地域の  
プロフィール

### 緑のふるさと 愛林のまち津別町

津別町は、北海道東部オホーツク圏の内陸部に位置しており、町の総面積は716.80㎡でその約86%を山林が占めております。森林資源の持続的な保全・活用を目指す誓いとして、昭和57年に「愛林のまち」を宣言しております。

また、阿寒摩周国立公園に隣接し、この公園や雲海を一望できる展望台や道内唯一の「森林セラピー基地」に認定された森や、原始林に囲まれた神秘の湖「チミケツ湖」、推定樹齢1200年の「ミズナラ」の巨木と特徴的な観光資源も有しております。

基幹産業は、小麦、馬鈴薯、玉葱、甜菜等の畑作及び酪農・畜産を主体に発展してきた農業と、豊富な森林資源を生かした林業及び木材の加工・木製品の製造などの製造業です。



# ふるさと名物の内容

## ◆主な地域資源：木工品・経木

林業及び木材の加工・木製品の製造に関する企業数は、造材・素材生産業が5社、木材加工業が12社を数えていますが、木材の加工・木製品の製造に関してはそれぞれが特色をもって、新製品の開発やそれに伴う技術革新を行ってきております。

### ①構造用合板

安価な輸入合板に対抗するために加工が難しい針葉樹を用いた製造。



### ②木製家具

国内でも有数なコンピュータ制御によるNC加工技術を用いた造形物。



### ③木工クラフト・経木

高い技術力を生かした商品の製作やクラフトデザイナーとコラボレーションしたブランド製品。



### ④木製スティック・スプーン等

国内としては唯一となっている木製の医療製品やアイススプーン等の製品。





## ◆「愛林のまち」つべつ

津別町は、森林資源の持続的な保全・活用を目指し「愛林のまち」を宣言しました。この取り組みとして、基金やオフセット・クレジット（J-VET）を活用して「植えて、育てて、伐って、また植える」という森林資源の循環を維持し、森林の多面的機能を発揮するよう計画的な森づくりを行っております。さらに、森林バイオマス活用や森林管理認証の取得も進められています。

また、町内には造林・造材・運材・製材・加工といった林産業に係わる企業が存在しており、付加価値を高めるため、森林総合産業の確立に向けて地域一丸で取り組んでおります。

## ◆各種制度の整備

### ①津別町中小企業特別融資制度

町内中小企業に対する融資の斡旋を行い、利子及び保証料の補給をしている。

### ②津別町起業等振興促進条例

町内において事業活動を行うものに対して、施設及び設備の新設、増設又は改修に助成している。

### ③津別町小規模事業者若者雇用促進助成金

町内において若年者の正規雇用に積極的に取り組む小規模事業者を支援している。

### ④津別町地域特産品販路拡大支援補助金

町内企業の町外における販路拡大のために見本市等に出展する経費に対し支援している。

### ⑤産業競争力強化法に基づく「創業支援計画」の遂行

町内の創業者に対し、国の施策を有効活用するため、各支援機関と連携し支援体制を強化している。

